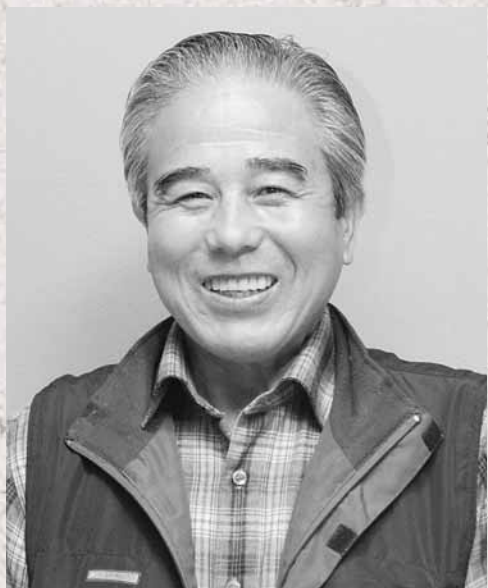


平成19年秋の褒章で、
稲川善昭さんが藍綬褒章、
芳賀榮三さんが黄綬褒章を受章しました。
お二人の長年にわたる
功績に、光が当てられ
ました。

秋の褒章

黄綬褒章



業務精励
芳賀榮三さん
(豊間根・62歳)

「褒章をいただけるなんて、考えたこともありませんでした。これが農林業活性化のきっかけになれば」と喜びを語ります。25年前にシイタケ栽培を始めた芳賀さんは、現在有効ほど木10万本を有し、年間生産量は約3万本。不作にもめげずに毎年3万本を植菌し、懸命にほだ木の本数を拡大し続けてきました。また、芳賀さんは品質向上のため、同年代の生産者たちと県

内外への視察や研修会に参加し、研究を重ねてきました。「一人だけ努力してもなかなか評価されにくいものです。みんなで良い物を生産してきたからこそ、山田産シイタケの評価が上ってきたと思います」とこれまでの努力を振り返ります。研究の成果もあり、芳賀さんが作る乾シイタケは全国規模の品評会で8回の農林水産大臣賞を受賞するなど、高い評価を得ています。「わたしたちの代で終わらせることなく、いずれは息子に継がせたいと考えていますが、それまでは生涯現役で頑張りたい」と意欲満々の様子でした。

高品質のシイタケ作り25年

豊間根の芳賀榮三さん(62)が、長年一つの仕事に打ち込んだ方に贈られる黄綬褒章を受章しました。

県内の美容技術向上に尽力

豊間根の芳賀榮三さん(62)が、長年一つの仕事に打ち込んだ方に贈られる黄綬褒章を受章しました。

藍綬褒章



生活衛生功績
稲川善昭さん
(川向町・64歳)

川向町の稲川善昭さん(64)が、公共の利益に寄与した方に贈られる藍綬褒章を受章しました。稲川さんは受章の喜びを「大変うれしく思います。業界の皆さんの協力のおかげだと感謝しています」と語っています。美容室を経営する稲川さんは、県美容業生活衛生同業組合役員や副理事長を20年以上にわたって務め、平成11年に理事長に就任。14年、上部団体である全日本美容業生活衛生同業組合連合会の常務理事に就任しました。

美容技術選手権大会では稲川さんが実行委員長を務め、本県から優勝1人、入賞者10人が選出されるなど、県内の美容技術の向上に力を尽くしました。また、高齢者や障害を持つ人に配慮した美容師を養成する「ハートフル美容師」制度の立ち上げに携わったほか、出張美容訪問サービスを県内で先駆けて本町で実施するなど、福祉の分野にも大きく貢献しました。「今後は、岩手の美容技術レベルの底上げを図り、多様化するお客さまのニーズに対応した組合づくりを力をつけたい」と話していました。